

進路ニュース

平成28年7月20日

鳥取県立白兔養護学校

進路担当

平成28年度 第2号

いよいよ、明日から夏休みが始まります。この1学期、児童生徒は日々の学習や様々な行事に一生懸命取り組んできました。今回の進路ニュースは、第33回鳥取県障がい者技能競技大会(アビリンピック鳥取大会)、東部地区特別支援学校就労促進セミナー、本校で今年度から取り組んでいる掃除についてお伝えします。

第33回鳥取県障がい者技能競技大会 (アビリンピック鳥取大会)

第33回鳥取県障がい者技能競技大会が6月30日(木)に鳥取県福祉人材研修センターで行われました。この大会は障がい者の社会参加と雇用の促進に係る啓発を目的にし、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構等の主催で開かれたものです。

本校の高等部から1年生2名、2年生4名、計6名の生徒が参加しました。この6名は大会前の約2週間、作業学習の時間等で集中的に練習をしてきました。アビリンピック当日は大会に出場しないシーコース・リバーコースの1・2年生も会場に行き、選手が各競技に取り組む姿を見学しました。大舞台で生き生きと頑張っている友だちの姿を見て、来年は自分も出てみたいと思った生徒もいたようです。

オフィスアシスタントの部に出場した2年生の生徒が「努力賞」をいただきました。この賞は昨年より設けられた賞で、努力が著しいと評価され、規定では1種目につき1名受賞となっています。該当者がいない場合もあり、入賞に匹敵する素晴らしい賞です。



＜オフィスアシスタント＞
文書の三つ折り、封入作業、
宛名シール貼り、封筒の仕分け



＜ビルクリーニング＞
床清掃及び机上清掃



＜パソコンデータ入力＞
伝票入力、請求書作成



＜喫茶サービス＞
接客・テーブルサービス



＜選手宣誓＞
本校の生徒2名が堂々と宣誓



＜見学の様子＞
メモを取りながら真剣に見学

平成28年度東部地区特別支援学校就労促進セミナー

7月14日（木）に東部地区5校の特別支援学校が共催し、鳥取聾学校を会場として平成28年度東部地区特別支援学校就労促進セミナーを開催しました。このセミナーは特別支援学校の生徒や授業の様子を事業所の方に知っていただき、障がい者の理解、就労促進につながることを目的としています。半日の開催でしたが、「生徒、卒業生による意見発表」「授業公開」「パネルディスカッション」と盛りだくさんの内容でした。

「生徒、卒業生による意見発表」では、本校高等部卒業生の近藤留可さんが働き始めてから困ったことやその解決策、現在の仕事の目標などについて発表し、「失敗を恐れず、挑戦することが大切」というメッセージを送りました。近藤さんには昨年度、1・2年生の総合的な学習の時間にも「先輩の話を聞こう」という学習で講師として話をさせていただきました。セミナーではさらに大勢の人の前で発表し、大きな拍手を浴びていました。

「授業公開」では本校からは持ち込み授業として、アビリンピック鳥取大会のビルクリーニング部門に出場したことのあつた2・3年生4名の清掃の様子を公開しました。緊張しながらも挨拶などの態度や掃除の仕方に気をつけながら堂々と取り組む姿をたくさんの企業の方々に見ていただきました。



<ビルクリーニング演習の様子>



<意見発表>

掃除、頑張ってます！

今年度から昼休憩後の13時15分から13時25分までの10分間、全校で掃除が始まりました。小学部では、教室の床を端から端まで雑巾がけしたり、机の下まで念入りに拭いたりしている児童の姿が見られます。中学部では、友だちと声をかけ合いながら協力して机を運んだり、ゴミを取ったりして力を合わせて掃除に取り組んでいます。高等部は教室や廊下以外に体育館や多目的室などの掃除も行っています。モップやダスタークロスを使用し、黙々と取り組んでいます。家庭でも職場でも掃除は必要であり、将来の自立に向けても大切な力となるものです。掃除上手になり、いろいろな場面で進んで掃除に取り組んでほしいと思います。

